

施設利用にあたっての合意事項 (○印にてチェックしてください。)

当施設はフリークライミング(ボルダリング&ロープクライミング)を行う施設です。フリークライミングには潜在的に死亡も含む重大な事故に繋がる危険が常に伴います。以下の項目を全て理解した上でご利用頂く必要があります。

ボルダリングについて

ボルダリングとは高さが比較的低い壁(一般的に1~5m)を、ロープを使わず行うフリークライミングです。クラックス大阪店には高さが約4mの壁が設置されています。ボルダリングは落ちると必ず地面まで墜落します。フロアは着地の衝撃を和らげるマットになっていますが、安全が確保されている訳ではありません。着地体勢によっては捻挫、打撲、骨折、死亡事故に繋がる可能性があります。両足で安全な体勢をとって着地するよう心がけてください。 (理解した)

墜落の際に他の利用者と衝突する危険性があります。登っている時や着地の際には下に人がいないか必ず確認し、接触が考えられる場合は声をかけたり、途中で登ることを中断する等、事故を避けるよう努めてください。また逆に登っている人の下や墜落してくるライン付近にいると衝突事故に繋がります。クライミングエリア内に入った際は常に周りの壁とクライマーを観察し、クライマーが落下してくる位置を予測して衝突しない位置で待機してください。 (理解した)

ロープクライミングについて

当施設には高さ約10mのロープの使用が義務づけられたクライミングウォールがあります。ロープで確保されていますが、すべての危険は排除できません。墜落により、捻挫、打撲、骨折、裂傷、死亡事故等の事故に繋がる危険性は常に存在します。クライマーとビレイヤー共にお互いの動作に注意をしてください。 (理解した)

ロープを使うエリアでのクライミングはリードクライミングとそのビレイ方法を熟知し、危険回避を常に意識できる経験者がいないとご利用頂けません。初心者のみでのご利用はできません。 (理解した)

自己責任のスポーツ

フリークライミングは事故(死亡も含む)に繋がる危険を伴うスポーツです。そのリスクを理解した上で、自ら危険を回避しながら登らなければなりません。クライミングとは「自己責任」の上に成り立っているスポーツであることを理解してください。 (理解した)

当施設の利用は、本人及び保護者の決定に基づく自主的なものである。 (はい)

事故の起きる可能性は内容により様々ですが、過去に実際に下記のような事故が起きています。(参考まで)

*墜落時に着地に失敗し捻挫。*補助マットの端に着地し靭帯裂傷。*飛び降りた際に下にいた人と衝突し打撲。*ホールドが回転し墜落し打撲。*子供が場内で周りに注意せず走り、落ちて来た人と衝突し打撲。*墜落した際にホールドで頭部を打ち出血。*墜落した際にホールドで肘を打ち骨折*過剰な指への負荷による指関節の炎症。*肩から墜落し、脱臼。*着地で手をついて手首を骨折。リード中フォールして壁に激突し骨折や頭部裂傷。

上記について理解しました。 署名： _____ 印

日付 _____